別紙⑧－2

別紙⑧－3

アーバンデザインセンター概要整理表　2017/6月版（UDCイニシアチブからの資料を一部修正）

7	番号		8	9	10	11	12	13	14	15
	加盟年月日		2014/11/4	2015/4/16	2015/10/17		2016/8/31	2016/10/1	2016/11/24	2016/12/20
UDCN			UDCQ	UDC2	UDCMi	UDCSEA	UDCC	UDCBK	UDCTak	UDCO
UDCN並木ラボ	通称		アーバンデザイン会議九大	柏アーバンデザインセンター	アーバンデザインセンターみその	ヨコハマ海洋環境みらい都市研究会	アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ	アーバンデザインセンター高島平	アーバンデザインセンター大宮
2014/3/15	設立年月日		2007/3/23	2015/4/16 2016/11/15（法人化）	2015/10/17	2015/10	2016/8/10	2016/10/1	2016/11/6	2017/4/1
神奈川県横浜市金沢区並木 金沢シーサイドタウン	主な活動エリア （名称・面積等）		糸島半島 （福岡市西区・糸島市）	千葉県柏市中央部 柏駅周辺エリア	さいたま市緑区 （美園地区）	神奈川県横浜市等 臨海部及び臨海市街地	神奈川県茅ケ崎市 （35.71㎢）	滋賀県草津市	東京都板橋区高島平地域 （約314ha）	埼玉県さいたま市大宮区 大宮駅周辺 （192ha）
大都市圏近郊	都市のタイプ	大都市圏都心 大都市圏近郊 大都市圏郊外 地方中枢都市 地方中核都市 地方中心都市 地方小都市	大都市圏近郊	大都市圏近郊	大都市圏近郊	大都市圏都心	大都市圏郊外	大都市圏郊外	大都市圏近郊	大都市圏都心
特定地区	対象エリアの広がり	特定地区 複数地区 市全域 広域	特定地区	特定地区	特定地区	特定地区	市全域	市全域	特定地区	特定地区
既成市街地（住宅地）	地区の基本的性格	新市街地 中心市街地（都心） 既成市街地（住宅地） —	新市街地	中心市街地（都心）	新市街地	中心市街地（都心）	—	—	既成市街地（住宅地）	中心市街地（都心）
	まちづくりのテーマ	区画整理			○					
		再開発		○					○	○
○		団地再生							○	
		地方創成・過疎対策								
		環境都市・スマートシティ			○	○				
○		高齢化・健康						○		
		産業育成								
		学園都市	○					○		
		観光・交流					○			
		災害復興								
大学（有識者）提案	設立のきっかけ	大学（有識者）提案 行政発意 地元発意 事業者発意	大学（有識者）提案	地元発意	行政発意	大学（有識者）提案	地元発意	行政発意	行政発意	地元発意
横浜市立大学COC事業	運営母体組織		アーバンデザイン会議九大	一般社団法人柏アーバンデザインセンター	美園タウンマネジメント協会	ヨコハマ海洋環境みらい都市研究会	特定非営利活動法人　アーバンデザインセンター・茅ヶ崎	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会	アーバンデザインセンター高島平 （理事会）	一般社団法人　アーバンデザインセンター大宮
大学	運営母体組織の性格	任意団体 NPO法人 一般社団法人 株式会社 大学	任意団体	一般社団法人	任意団体	任意団体	NPO法人	行政	任意団体	一般社団法人
#REF!	運営母体組織の構成団体	公共	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	正会員は11名。　賛助会員は個人会員4名と団体会員3団体（特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎、合同会社アイウェルフェア、他1団体）	公共：草津市、草津市コミュニティ事業団、草津商工会議所等が委員として参加	公：板橋区、UR都市機構	公共：さいたま市 （ほかは個人）
#REF!		民間	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!		民間：滋賀銀行、パナソニックアプライアンス社が委員として参加	民：町会連合会高島平支部、商店街連合会第七支部	
#REF!		大学	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!		大学：立命館大学、滋賀大学、京都橘大学、滋賀県立大学が委員として参加	学：UDCネットワーク、学識者個人の立場での参加	
鈴木伸治（横浜市立大学教授）	運営母体組織の代表者・理事等		安浦寛人（九州大学理事・副学長）	寺嶋哲夫（柏商工会議所会頭）	梅本和典（元イオンリテール特別顧問、現イオンディライト顧問）※最高顧問 西宏章（慶應義塾大学教授）※会長	信時正人（元横浜市音大か対策統括本部理事） 松田裕之（横浜国立大学教授）	高見澤和子（元まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎 代表）	及川清昭（立命館大学教授）	出口敦（東京大学教授）	工藤和美（東洋大学教授）
運営母体組織と同一	執行（事務局）組織		運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	一般社団法人美園タウンマネジメント	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一
運営母体組織と同一	執行（事務局）組織の代表者		運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	西宏章（慶應義塾大学教授）	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一	運営母体組織と同一
	専任スタッフ数（専門）		0名	3名	5名		0名	3名	0名	4名
	専任スタッフ数（事務）		0名	1名	0名		0名	1名	0名	0名
大学准教授と学生によって運営	運営体制　備考		ディレクター（大学職員）が実務を担当				法人の理事メンバー数名を中心に、ボランティアで事務局を担っている。	週1日立命館大学職員1名	区職員2名が事務局を担うほか、委託事業者が実務サポート	
団地内の空き店舗	施設概要		なし	商店街の市有建物	駅前マンションの1階テナント	なし	なし	駅前商業ビルの1階 （29年8月に移転）	なし	駅前商業ビルの8階
	施設面積（専有部）			195㎡	140㎡			225㎡		157㎡
○	施設機能	事務スペース		○	○			○		○
○		会議・イベントスペース		○	○			○		○
○		情報スペース			○			○		○
		その他						キッズスペース、学習ブース		書籍閲覧スペース
	センターの活動概要	調査研究　計画立案	○	○	○	○	○	○	○	○
		民間建築物の景観誘導			○					
		教育プログラム		○			○	○	○	
		イベントプロモーション	○	○	○				○	
		実証実験			○			○		
		地域活動支援		○			○	○		
		公共空間運営								○
		広報誌やメディア事業					○		○	
	運営の基礎的経費（人件費・施設経費等）の原資		九州大学が負担	柏市、柏市まちづくり公社、柏商工会議所が負担	さいたま市が負担（一部民間企業も負担）		法人メンバーによるボランティア	草津市が負担（一部立命館大学も負担）	板橋区が負担	さいたま市が負担
	活動経費の原資			柏市、柏市まちづくり公社、柏商工会議所が負担	さいたま市、参画企業、大学がプロジェクトごとに負担		茅ヶ崎市の助成金、その他の助成金	草津市が負担（立命館大学との連携事業も実施）	板橋区が負担	さいたま市が負担
	自治体負担の有無		なし	#REF!	#REF!		なし	あり	あり	あり
	自治体負担の方法	運営負担・運営委託		○	○			○	○	○
		調査研究計画策定委託		○	○					
		補助金			○		○			
		職員派遣		○				○	○	
		施設供与		○				○		
		その他								
	民間負担の有無		なし	#REF!	#REF!		なし	なし	なし	なし
	民間負担の方法	運営負担・運営委託		○						
		調査研究計画策定委託		○						
		職員派遣・契約派遣			○					
		施設供与								
		その他			実証事業の実施					
	大学負担の有無		あり	#REF!	#REF!		なし	なし	なし	なし
	大学負担の方法	運営負担・運営委託								
		調査研究計画策定委託								
		職員派遣・契約派遣								
		施設供与								
		その他								
	独自収益事業		なし	なし	①駐輪場運営 ②産直イベント出店料収入 ③貸スペースの一般貸出 ④自販機収入 ⑤地域情報紙の広告収入		①ツアー・視察収入 ②有料イベント収入	なし	なし	なし